

平成23年度科学・技術関係予算についての
第一線の若手研究者からの意見募集結果
(24133：科学研究費補助金)

ご意見の概要	件数
このまま推進すべき	59件
改善・見直しをした上で推進すべき	31件
推進すべきではない	1件
その他	2件
合計	92件

【主なご意見】

日本学術振興会と文部科学省の二つに分かれているのは非効率なので、どちらかに統合するべき。

「挑戦的萌芽研究」と「若手研究」の拡充が必要。

若手研究(S)の復活を切望する。

基盤研究(C)や若手研究(B)のような小規模な予算枠の種目を拡充するべき。若手研究(B)よりも総額が少ないが採択率のもっと高い部門を作って欲しい。

独立ポストあるいは教授になった申請者のみが申請できる研究費が必要。

研究効率を上げるため、年度をまたいだ予算執行を可能にしていきたい。

現在のシステムでは、不採択時に届く葉書には、各項目の4段階評価と、不採択課題の中でどの程度にランク入りしたか、という事務的な内容しか書かれていないため、ピアレビューのシステムをより活かして、研究課題に対するコメントが応募者に伝わるようにして欲しい。

一般国民に対する目に見えた成果報告を行うべき。